

日本建築学会関東支部総会 記念講演会のご案内

主催：(一社) 日本建築学会関東支部栃木支所

## 新たな時代の木造建築の可能性

～防火技術・制度から考える～

5月13日宇都宮市で日本建築学会関東支部総会が開催されるのを機会に長年日本の第一人者として木造建築物の研究に携わってきた、学会関東支部長長谷見雄二（早稲田大学教授）、建築研究所上席研究員を経て平成27年度より宇都宮大学に赴任され木質材料の研究者である、中島史郎教授のお二人による、標記講演会を開催することにいたしました。大変貴重な機会ですのでふるってご参加ください。

共催 一般社団法人栃木県建築士会 宇都宮大学地域デザイン科学部  
公益社団法人日本建築家協会栃木地域会

日 時 平成28年5月14日（土） 9時45分～12時15分  
(9:30 受付開始)

会 場 建設産業会館3階 大会議室 (宇都宮市築瀬町1958-1)

入場無料 先着100名

概要 2013年ごろから従来にはなかったような耐火木造建築が実現したり、建築基準法の大規模木造関連規定が改正されるなど、木造建築をめぐって近年大きな変化がおきつつあります。法令改正では条件はつきませんが延床面積3000㎡を超える木造建築、準耐火構造に基づく3階建て特殊建築物が可能になりました。公共建築物のコンペやプロポーザルでも木造や木材活用を前提にしたものが急速に増えており、7～8階建て程度を視野に入れた木造建築技術の開発も盛んになってきました。大規模木造建築の最新の事例も紹介しながら、今後どんな木造建築が可能になっていくかお話をしていただき、その後質疑・意見交換を行います。

申し込み 5月7日（金）までに下記事務局へファックスまたはメールにて申し込みください。

FAX 028-639-3160 Eメール tcgsabe@tochigi-kenchikushikai.or.jp

氏名	会社名	電話番号